

-----8月4日-----

2025年

※ 今週のアウトlook(8/4~8/8)

先週は米国雇用統計の悪化を受けて、円高、ドル安が大きく進みました。
非農業部門雇用者数の悪化に加え、**5、6月分**の下方修正、
更にクーグラーFRB理事の任期途中で辞任報道が拍車をかけたようです。

今週は雇用統計の影響がどこまで拡大するのかを、
まずは見極める必要があります。
米国景気の冷え込みがある程度明らかになってきた状況で、
株価、為替とも大きく転換するキッカケとなる可能性はあるように思います。

先週ドル円は木曜日に150円台を突破してきたものの、
金曜日に発表された米国雇用統計の悪化を受けて、147円台まで下落しました。

今週は米国雇用統計悪化の影響が、どのあたりで落ち着くのか、
テクニカル的には146円付近まで下落する可能性はあるように思います。

ドル円の予想レンジは145円から149円です。

ユーロドルは1.14付近まで下落したものの、米国雇用統計の発表を受けて
1.15後半まで上昇しました。

再び1.19付近まで上昇する可能性が出てきたようにも思います。

ユーロ円は木曜日に169円台まで下落しましたがその後回復し
金曜日には再び170円台まで下落しています。
今週は170円を再び割り込むようなことがなければ、173円付近まで回復する可能性は
あるように思います。

ユーロ円の予想レンジは169円から174円です。

ポンド円は週末に195円台まで一気に下落しました。
今週は、ある程度のリバウンドは期待できそうには思いますが、
その後、方向感を見出しにくい動きとなる可能性はありそうです。

ポンド円の予想レンジは195円から200円です。

日経225、NYダウともに米国雇用統計の悪化を受けて大きく下落しています。
サポートラインを抜けてしまったNYダウがどのあたりまで下落するのか、
まずは見極める必要があります。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。